

令和6年度

2学年

各教科の学習内容と

その評価方法

江戸川区立小岩第三中学校

## < 目次 >

学習評価・評定について	P	1
国語	・ ・ ・ ・ ・	P 2~4
数学	・ ・ ・ ・ ・	P 5~7
社会	・ ・ ・ ・ ・	P 8~9
理科	・ ・ ・ ・ ・	P 10~12
英語	・ ・ ・ ・ ・	P 13~14
音楽	・ ・ ・ ・ ・	P 15~17
美術	・ ・ ・ ・ ・	P 18~19
保健体育	・ ・ ・ ・ ・	P 20~23
技術家庭科	・ ・ ・ ・ ・	P 24~28

保護者様

江戸川区小岩第三中学校  
進路学習指導部

## 令和6年度 小岩第三中学校 評価・評定について

各教科担任は、年間指導計画を年度当初に立てて、その計画に基づいて授業計画を練り、学習指導を行います。そして、各生徒が教科担任の設定する学習目標に対し、どれくらい理解し、身につけているかを割合で評価します。その方法についてお知らせ致します。

### 【評価について】

各教科で単元ごとに目標を設定し、観点別に評価します。各教科で《知識・技能》《思考・判断・表現》《主体的に学習に取り組む態度》の3つの観点が設定されています。

それぞれの観点は、学期ごとに同じ比重で設定しています。学習目標に対する各生徒の到達度により、評価を付けます。その基準は、下の通りです。

評価	目標に対する到達度の割合
A：十分に満足できると判断されるもの	80% ～ 100%
B：おおむね満足できると判断されるもの	50% ～ 80%未満
C：努力を要すると判断されるもの	50%未満

### 【評定について】

単元ごとの観点別評価を総合して、各学期に下表の通り5段階の評定をします。

評定	目標に対する到達度の割合
5：十分満足でき、特に程度が高いもの	90% ～ 100%
4：十分に満足できると判断されるもの	80% ～ 90%未満
3：おおむね満足できると判断されるもの	50% ～ 80%未満
2：努力を要すると判断されるもの	20% ～ 50%未満
1：一層の努力を要すると判断されるもの	20%未満

### 《注意点》

- 観点別評価が、すべてAであっても評定が4になることがあります。(評価Aの基準は80%以上ですが、評定5の基準は90%以上であるためです。)
- 観点別評価が、すべてBである場合は必ず3になります。
- 観点別評価が、すべてCであっても評定は1と2の場合があります。

<評価・評定の例> ( )内の%は、到達度を表しています。

	Aさん		Bさん		Cさん	
	評価	評定	評価	評定	評価	評定
知識・技能	A(82%)	4 (82%)	A(97%)	5 (90%)	B(78%)	3 (78%)
思考・判断・表現	A(80%)		B(78%)			
主体的に学習に取り組む態度	A(84%)		A(95%)		B(77%)	

通知表は、生徒の学校生活の実態や成長の様子を保護者の皆さまにお伝えするものです。学校とご家庭とで、協力して継続的にお子さまの成長のために使う1つの参考資料となります。終業式の日配布されましたら、よくご覧いただき、学校での学習成果や生活について一緒に考え、お子さまのやる気を引き出すようご活用ください。

# 令和6年度 国語科第二学年年間指導計画

担当 植草 亜由斗

## 1 評価に関わる教科の基本方針

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを指導の重点としています。

- 日々継続的に学習する習慣をつけさせるための生徒の取り組み

①授業での取り組み ②家庭学習の取り組み ③定期考査などへの取り組み

これらを連動させ、以下の年間指導計画に基づいて指導していきます。各単元での学習内容を深め、それを適正に評価できるよう、評価規準を明確にします。

## 2 評価方法

観点	項目
知識・技能	・漢字テスト ・文法テスト ・毛筆、硬筆書写 ・提出物の内容 ・定期考査 ・古典の暗唱 など
思考・判断・表現	・スピーチ ・討論 ・弁論 ・音読 ・発表に対する評価 ・発言内容 ・まとめレポート ・作文 ・課題意見文 ・感想文 ・要旨のまとめ ・発表原稿 ・内容理解 ・要点の抜き出し ・文章構造の理解 ・内容を理解した音読 ・定期考査 など
主体的に学習に取り組む態度	・挙手 ・発言内容 ・宿題、提出物の内容 ・まとめレポート ・授業内の課題やワークシートへの取り組み ・小テスト など

## 3 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
1 学 期	4	・授業開き	1	・授業の進め方 ほか。	【知・技】語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしているか。 【思・判・表】内容を読み取ることができたか。詩の表現方法を活用することができたか。 【知・技】「虹の足」に同じ。 【思・判・表】登場人物の心情の変化について話し合うことができたか。登場人物の設定の仕方を捉えているか。 【知・技】単語の活用について理解を深めているか。自立語のはたらきを理解できたか。 【思・判・表】構成と内容を読み取り、要旨を理解できたか。課題に沿って、構成を工夫して、作文を書くことができたか。
		・虹の足	3	・詩の表現方法について理解する。そのうえで、内容や作者の思いを読み取る。	
		・タオル	5	・登場人物の心情の変化を読み取る。登場人物の人物像を考える。主人公の気持ちを考える。	
		・文法（自立語）	6	・活用のある自立語と活用のない自立語の違いを区別する。 ・活用のない自立語の働きを理解する。 ・論理の展開を読み取り、自分たちの日常生活から「〇〇の魅力」をテーマに作文して、発表する。	
	5	・日本の花火の楽しみ	4		

	6	・水の山 富士山	5	<p>・文の構成をまとめ、問いや答えを把握する。本文を要約する。</p> <p>・図や写真と文章を関連付けて読む。</p> <p>・筆者の考えを捉え、それについての自分の考えをまとめる。</p>	<p>【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係を理解しているか。</p> <p>【思・判・表】構成をまとめ、内容を理解することができたか。要約することができたか。文章と図表などを結び付け、関係を踏まえて内容を解釈しているか。</p>
		・新聞の投書記事を書く	6	<p>・自分でテーマを決めて、意見文を書く。意見文をお互いに評価する。</p>	<p>【思・判・表】理解し、考えたことを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりして書いているか。</p>
		・SNSから自由になるために	2	<p>・小説と脚本の違いを知り、それぞれの効果について考える。</p>	<p>【思・判・表】構成を考え、意見と具体例を挙げて意見を述べることができるか。</p>
		・弁論大会の原稿作成	8	<p>・テーマを設定して、自分の主張を作文する。構成や表現に注目して、文を推敲する。</p>	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っているか。</p>
	7	・弁論大会	3	<p>・自分の考えを推敲し、聞き手を意識して伝える話し方を工夫して話す。話し手の考えを正確に聞く。</p>	<p>【思・判・表】社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にしているか。</p>
2 学 期	9	・持続可能な未来を創るために	3	<p>・筆者からの「『問い』」について話し合う。また、「最後の『問い』」について自分の考えを書く。</p>	<p>【思・判・表】構成や表現に気を付けて、意見文を書くことができたか。</p>
		・紙の建築	5	<p>・事例の役割や効果を理解し、主張と関連付けて読む。</p> <p>・筆者の考え方を捉え、社会との関わり方について自分の考えを深めたりする。</p>	<p>【思・判・表】弁論原稿を完成させ、読み手を意識し、工夫し発表できたか。皆の弁論を聞き、見聞を広げられたか。</p> <p>【思・判・表】自分の立場や考えを明確にして話しているか。他の意見を聞き、自分の考えを広げたり、深めたりできたか。</p>
		・文法（自立語）	8	<p>・活用のある自立語について理解を深める。</p>	<p>【知・技】「水の山 富士山」に同じ。</p> <p>【思・判・表】主張と例示との関係を捉えて読んでいるか。また目的に応じて複数の情報を整理しながら、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈しているか。</p>
		・敦盛の最期	4	<p>・平家物語の冒頭部から中心思想を理解する。</p> <p>・本文を音読し、登場人物の心情を読み取った上で、役割で朗読し、作品世界を味わう。</p>	<p>【思・判・表】「水の山 富士山」に同じ。</p> <p>【知・技】単語の活用について理解を深めているか。</p>
		・随筆の味わい	3	<p>・歴史的仮名遣いで書かれた文を読み取る。季節感や人間観に注目し、筆者の考えを捉えて、それに対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>【知・技】作品世界を理解し、特徴を生かして朗読し、古典世界に親しんでいるか。</p> <p>【知・技】現代語訳や語注などを手掛かりに古典に表れたものの見方や考え方を知っているか。</p>
		・二千五百年前からのメッセージ	3	<p>・訓読文から、書き下し文や訳文に読み換える。音読・暗唱内容を理解して、自分の考えを書いてまとめる。</p>	<p>【思・判・表】主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えているか。</p> <p>【知・技】【思・判・表】「敦盛の最期」に同じ。</p>
	10				

11	・ 短歌の味わい	3	・ 声に出して短歌を読み、情景や心情を味わう。短歌のきまりを知り、思いや表現の工夫について考える。	【思・判・表】内容を解釈して、理解したことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広めたり、深めたりしているか。 【知・技】作品世界を理解し、特徴を生かし朗読し古典の世界に親しんでいるか。 【思・判・表】「随筆の味わい」に同じ。 【知・技】抽象的な概念を表語句の量を増し、実際に使用し、語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしているか。	
	・ 坊ちゃん	2	近代の作家と作品に触れ、小説や物語を読む。	【思・判・表】主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えているか。登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈しているか。	
	・ 夏の葬列	6	・ 物語の展開を捉え、主人公の葛藤を読み取る。	【知・技】本や文章などには様々な立場や考え方が書かれていることを知り、読書に生かしているか。	
	・ 敬語	4	・ 敬語のはたらきと、使用方法について学び演習する。	【知・技】「短歌の味わい」に同じ。	
	・ ガイアの知性	5	・ 筆者の提起していること、内容の展開や意味を読み取る。自分の考えをまとめ、意見文を発表し合う。	【思・判・表】登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈しているか。登場人物の設定の仕方などを捉えているか。	
	・ 記事を書く	5	・ 情報がわかりやすく伝わるように記事を書く。	【知・技】敬語を正しく使用することができたか。	
	・ 相違点を明確にして聞く	3	・ 自分の考えと比較しながらスピーチを聞く。	【知・技】「水の山 富士山」に同じ。「SNSから自由になるために」に同じ。	
	12	・ 書写 書き初め	4	・ 行書を中心に学習し、毛筆で書く。	【思・判・表】「随筆の味わい」に同じ。
	・ 走れメロス	7	・ 登場人物の心情を読み取り、登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	【思・判・表】文章の構成や展開を工夫しているか。 【思・判・表】皆の意見を聞き、自分の見聞を広げられたか。	
	・ 構成を明確にして手紙を書く	2	・ お礼状の書き方について学び、時候の挨拶などを考える。職場体験先へのお礼	【知・技】文字について学習し、豊かな文字文化について理解しているか。	
3 学 期	1	・ 夢を跳ぶ	3	状を書く。 ・ 図書館やインターネットを使って関心のある事柄についてレポートにまとめる手法を学ぶ。	【知・技】「短歌の味わい」に同じ。 【思・判・表】「短歌の味わい」に同じ 【思・判・表】「随筆の味わい」に同じ。
	2	・ 学ぶ力	4	・ 筆者の考えを踏まえて、学びを振り返る。	【知・技】【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解しているか。手紙の形式に沿ってお礼状を書けたか。
		・ 豚	1	・ 詩の世界を豊かに想像する。	【知・技】【思・判・表】「SNSから自由になるために」に同じ。
	・ 文法（付属語）	4	・ 付属語の品詞分類と用法について区別		

	3	<p>・「連作ショートショート」を書く</p>	5	<p>する。</p> <p>表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。</p> <p>【知・技】「水の山 富士山」に同じ。</p> <p>【思・判・表】伝えたいことがわかりやすく書かれているか。</p> <p>【知・技】【思・判・表】「虹の足」に同じ。</p> <p>【知・技】付属語の品詞分類と用法を理解できたか。</p> <p>【知・技】「虹の足」に同じ。</p> <p>【思・判・表】表現の工夫を意識して書けているか。</p>
--	---	-------------------------	---	---

# 令和6年度 第2学年 社会科 評価から評定への総括方法

担当：堀内 健太郎

## 1. 評価に関わる教科指導の基本方針 (評価計画)

- ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、学びに向かう力を育む。
- ・点数だけでない部分の評価を設定し、社会嫌いにならないような教科指導を心がけ、地理的分野と歴史的分野の基礎的な知識を身につけさせる。
- ・授業態度や授業プリント・ノート・ワークなどの提出物を重視し、評価していく。
- ・1年間週に3回ある授業を歴史と地理を分けて学習する。(歴史2回と地理1回、地理2回と歴史1回など)  
※順序等は進度によって変更となる場合がある。
- ・ICT教材やビデオ等の視聴覚教材をできるだけ活用していく。
- ・主体的な発表授業を通じて、調べる力、発表する力をつける。

## 2. 評価の観点と評価方法

- ① 社会的事象への主体的に学習に取り組む態度
- ② 社会的な思考・判断・表現
- ③ 社会的事象についての知識・技能

## 3. 評価から評定への総括方法の一覧表 (各観点を総括して数値化し評価します)

評価方法	授業での取り組み				家庭学習の取り組み			考査などへの取り組み			評価のポイント
	発言・行動観察	ノート・レポート	ワークシート	発表・プレゼン等	宿題	ノート・レポート	調べ学習	定期考査	小テスト	単元テスト	
社会的事象への主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	○				積極性 提出期限 丁寧さ 私語
社会的思考・判断・表現	○	○		○		○	○	○		○	論理的思考 発言・回答内容 作品の構成 応用力
社会的事象の知識・技能	○	○	○		○	○	○	○	○	○	創造性 適切な資料の活用 概念の理解 基礎的な知識



4. 令和6年度 第2学年 社会科 年間指導計画・評価規準

学期	月	学 習 項 目 ・ 内 容	評 価 規 準	評価の観点
1	4	<b>【地理分野】</b> 3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 第2節 中国・四国 第6節 東北地方	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付くことができたか。</li> <li>ヨーロッパ、アジア各地との関わりの中で全国統一事業の過程を理解できたか。</li> <li>江戸時代の産業の発達と、その要因となった時代の流れを理解できたか。</li> </ul>	社会的事象への主体的に学習に取り組む態度  社会的思考・判断・表現  社会的事象の知識・技能
	5	<b>【歴史分野】</b> 第3章 中世の日本と世界 第2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化 第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 第2節 江戸幕府の成立と鎖国		
	6	<b>【期末考査】</b>		
	7			
2	8	<b>【歴史分野】</b> 第5章 開国と近代日本の歩み 第1節 欧米の進出と日本の開国 第3節 産業の発達と幕府政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の産業の発達と、その要因となった時代の流れを理解できたか。</li> <li>日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付くことができたか。</li> <li>世界的視野から見た日本の地域的特色や、四つの観点からとらえる活動を通して、日本の国土の特色を大観することができたか。</li> </ul>	社会的事象への主体的に学習に取り組む態度  社会的思考・判断・表現  社会的事象の知識・技能
	9	<b>【地理分野】</b> 第2部 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿 第2章 世界と比べた日本の地域的特色		
	10	<b>【中間考査】</b>		
	11	<b>【地理分野】</b> 第3章 日本の諸地域 第3節 近畿地方 第4節 中部地方 第1節 自然環境の特色		
12	<b>【期末考査】</b>			
3	1	<b>【地理分野】</b> 第3章 日本の諸地域 第5節 関東地方 第7節 北海道地方 第2節 人口の特色 第3節 資源や産業の特色 第4節 地域間の結びつき	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付くことができたか。</li> <li>欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できたか。</li> <li>明治新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解できたか。</li> </ul>	社会的事象への主体的に学習に取り組む態度  社会的思考・判断・表現  社会的事象の知識・技能
	2			
	3	<b>【歴史分野】</b> 第2節 明治維新  <b>【学年末考査】</b>		

1. 評価に関わる教科指導の基本方針

数学は系統的な教科なので、1年生では中学生としての学習習慣を身につけるように指導します。2年、3年生では1年生で学習した数学の基礎を元に、より高次の学習へ生徒が円滑に進めるように指導していきます。

また、言語活動の取り組みとして、自分の意見を相手に伝える発表の場を多く設けていく。

したがって、指導の重点を日常の学習姿勢と考え、1年から3年まで、次の項目で評価していきます。

●日々継続的に勉強する習慣をつけさせるための生徒の取り組み (評価計画)

- ①授業での取り組み
- ②提出物など家庭学習の取り組み
- ③小テスト、定期テストなどへの取り組み

2. 評価の観点と評価方法

●評価の3観点

- ①主体的に学習に取り組む態度
- ②思考・判断・表現
- ③知識・技能

●評価から評定への総括方法一覧表 (○がついている方法で評価します。)

評価方法	授業での取り組み					提出物等 家庭学習の 取り組み			テスト などへの 取り組み		評価のポイント
	発言	ノート	取 組 み 姿 勢	作 業	発 表	問 題 集	プ リ ン ト	レ ポ ー ト	定 期 考 査	小 テ ス ト 等	★授業での取り組み ☆ 発言 授業で積極的に発言しているか。(正誤問わず) 小グループ活動で積極的に発表し、意見を交換し、理解を深めているか。
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	○	○		○	☆ ノート ノートをきちんととっているか。
思考・判断・表現	○				○			○	○	○	☆ 作業 ワークシートへの記入をしっかりとやっているか。
知識・技能	○				○			○	○	○	★提出物等への取り組み 提出物をきちんと出しているか。
											★小テスト等は、単元内の小テストなども含む。

1.評価に関わる教科指導の基本方針および評価計画

- 実験・観察を可能な限り多く取り入れ、探究的に授業を進めることにより興味や関心を高める。
- 基礎・基本の知識を確実に身に付けさせる。
- 応用問題や学力検査課題に対応できるように発展的な指導を取り入れる。
- 科学的な見方・考え方を養うために、発表やレポートを取り入れる。
- 興味・関心を高めるために、ICT機器を活用する。
- 日常生活で起こる事物・現象を科学的に考えられるように指導を心がける。
- 2年後に都立高校入学者選抜学力検査課題に対応できる力を養えるように授業を進める。

2.評価の3観点と評価方法

◎評価の3観点

- ①知識および技能・・・・・・・・自然の事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験に関する基本的な技能を身につけている。
- ②思考・判断・表現・・・・・・・・自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を科学的に探究する力を養う。
- ③主体的に取り組む態度・・・自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

◎評価から評定への総括方法 (評定への3観点の割合は学習内容によって異なります)

評価方法	ノート	授業の様子	実験・観察レポート 発表 振り返りシート	定期テスト	小テスト	宿題
①知識・技能			◎	◎	○	
②思考・判断・表現			◎	◎	○	
③主体的に学習に取り組む態度	○	◎	◎	△	△	○

【観点別評価】

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

学期	月	学期項目・内容	評価基準
1	4	1 《化学変化と原子・分子》	<p>《化学変化と原子・分子》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな化学変化についての実験を通して、物質の成り立ち、物質どうしの化学変化、酸化と還元、化学変化と物質の質量変化、化学変化とその利用について理解するとともに、それらの観察・実験に関する技能を身につける ①。</li> <li>化学変化について見通しをもって解決する方法を立案して観察・実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する ②。</li> <li>化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする ③。</li> </ul> <p>《生物のからだのつくりとはたらき》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物とからだのつくりとはたらきについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察や実験の技能を身につける ①。</li> <li>生物のからだのつくりとはたらきについて見通しをもって解決する方法を立案して観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見出して表現する ②。</li> <li>生物のからだのつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする ③。</li> </ul> <p>《電気の世界》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気に関する実験を通して、静電気と電流の関係、電流と電圧、磁界について理解するとともに、それらの観察・実験に関する技能を身につける ①。</li> <li>電気に関する実験を見通しをもって行い、実験結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見出して表現する ②。</li> <li>電気に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、日常生活と関連づけて考察できるようにする ③。</li> </ul> <p>《天気とその変化》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素・気象観測・霧や雲の発生・前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける ①。</li> <li>気象観測や天気の変化、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性などを見出して表現する ②。</li> <li>気象観測や天気の変化、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする ③。</li> </ul>
	5	1章 物質のなり立ち	
6	2章 物質どうしの化学変化		
7	3章 酸素がめかわる化学変化		
7	4章 化学変化と物質の質量		
7	5章 化学変化とその利用		
2	9	2 《生物のからだのつくりとはたらき》	
	10	1章 生物と細胞	
	11	2章 植物のからだのつくりとはたらき	
	12	3章 動物のからだのつくりとはたらき	
3	1	4 《電気の世界》	
	2	1章 静電気と電流	
	3	2章 電流の性質	
		3章 電流と磁界	
		《一年間の総復習》	

年間指導計画表および評価規準

〈2年〉

学期・月		題材内容	評価規準 (文法・文型事項・基本表現)
1 学 期	4	辞書を読んでみよう Program 1 Start of a New School Year	意欲的に辞書を引き、調べようとする。(主) 未来を表す表現や接続詞 when を理解し使うことができる。 (知・技) 条件や仮定を言う会話をするができる。(知・技)
	5	情報をつなげながらメモをとろう Program2 Leave Only Footprints	マッピングなどを活用して情報を聞き取ったり伝え合ったりすることができる。(思・判・表) (主) 接続詞 that を理解し使うことができる。「～しなければならない」「～してはいけない」という表現を理解し使うことができる。(知・技)
	6	天気予報を聞こう	天気予報を聞いて必要な情報を聞き取ることができる。 (知・技)
		電話をかけよう	場面に応じて自分の用件などについて電話で伝え合うことができる。(知・技) (主)
7	Program3 Taste of Culture 文章の構成を考えよう	不定詞や動名詞を理解し、使うことができる。(知・技) 自分の行きたい場所についての紹介文を書くことができる。 (思・判・表) (主)	
2 学 期	8 9	「夢の旅行」を企画しよう	自分たちの「夢の旅行」について企画しプレゼンテーションすることができる。友達の発表について即興で質問したり、意見を述べるができる。(思・判・表) (主)
	10	Reading Gon, the Little Fox Program4 High-Tech Nature	物語を読み、概要や登場人物の心情を捉えたり、思ったことについて書いたりすることができる。(思・判・表) (主) 形容詞、副詞の比較級、最上級を理解し使うことができる。 (知・技)
	11	Program5 Work Experience	how to~, look 形容詞、become 形容詞などの意味を理解し、使うことができる。(知・技) SVOO の文と SVC の文を理解し、使うことができる。(知・技)
	12	レストランで食事をしよう Program6 Live Life in True Harmony 会話をつなげ深めよう	レストランで注文するときに使う表現を理解し、会話をするることができる。(知・技) 受け身形を理解し、使うことができる。(知・技) あいづちなど会話の深め方を理解し、自分の好きな人物について伝え合うことができる。(思・判・表) (主)
3 学 期	1	こんな人になりたい Reading Friendship beyond Time and Borders	既習の表現を用いて、ある人物について即興で伝えたり概要や要点を捉えることができる。(思・判・表) (主) トルコと日本に関する英文を読んで理解することができる。国と国が友好関係を築くために大切なことについて書くことができる。(思・判・表) (主)

2	<p>Program7 A Gateway to Japan</p> <p>相手にわかりやすい説明をしよう</p> <p>空港のアナウンスを聞こう</p> <p>Program8 A Hope for Lasting Peace</p>	<p>現在完了（完了、経験）の用法を理解し、使うことができる。（知・技）</p> <p>相手が未知のものについてわかりやすく説明することができる。（思・判・表）（主）</p> <p>空港のアナウンスを聞いて理解することができる。（知・技）</p> <p>現在完了（継続）や現在完了進行形を理解し使うことができる。（知・技）</p>
3	<p>説得力のある主張をしよう</p> <p>メールで近況報告をしよう</p> <p>この1年で得た「宝もの」</p> <p>Reading Visas of Hope</p>	<p>説得力のある主張の仕方を理解し、自分の主張を伝えることができる。（思・判・表）（主）</p> <p>メール文で使う表現や時制を理解し、まとまりのある英文を書くことができる。（技）（思・判・表）（主）</p> <p>既習の表現を用いて、この1年で得た「宝もの」についてスピーチすることができる。（思・判・表）（主）</p> <p>杉原千畝に関する英文を読んで、概要や要点を読み取ることができる。英文を読んで思ったことについて、書くことができる。（思・判・表）（主）</p>

# 令和6年度 音楽科 評価方法 (第2学年)

## 1. 教科の方針

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。授業の発表の場として、合唱コンクールで音楽表現をする。合唱曲の歌詞の内容や曲想を感じ取り、その楽曲ふさわしい表現を工夫することで言語活動の充実を深める。

## 2. 評価計画

- ・主体的、対話的で深い学びの視点から点数だけでない部分の評価を重視し、表現する楽しさや喜びに結びつける。
- ・授業態度（表現する意欲）やノート（プリント）などの提出物を重視し評価していく。
- ・歌唱や実技テストを定期的に行い、定期考査と同等に評価する。
- ・年間を通して、歌唱、器楽、鑑賞、創作など、幅広い音楽活動を通して評価する。

## 3. 評価の観点と評価方法

- ①知識・技能（知識・技能は分けて審査）
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

・評価から評定への総括方法

評価項目 評価の観点	定期考査	実技テスト 【項目は下記】	授業の様子	ワーク シート
① 知識・技能	○	○		○
②思考・判断・表現	○	○	○	○
③主体的に学習に 取り組む態度		○	○	○

\*実技テスト評価項目

- ①正しい発声，奏法で演奏できているか（技）
- ② 音程，リズムが正しくとれているか（技）
- ③ 曲にふさわしい表現や響きを迫及して表現豊かに演奏できているか（思・判）
- ④真剣な態度でテストに臨んでいるか（態）

## 2 学年 年間指導計画

2 年生	月	単 元	学習活動	評価規準
1 学 期	4	行事への取り組み① 【歌唱】	歌唱に積極的に取り組む姿勢をつくる。 「校歌」「語り合おう」	【態】（共通）意欲的に取り組んでいるか。 【知・思】形式や思想を理解して歌っているか。 【思・技】楽曲にふさわしい発声で歌っているか。
	5	アルトリコーダー 独奏 【器楽】	基礎的な奏法を理解し、表現を工夫しながら演奏する。 「アニーローリー」	【知・思】表現記号に留意し、表現を工夫しているか。
		日本の音楽 歌曲 【歌唱】	「ユダス マカベウス」	【技】旋律の重なり具合に留意して演奏できるか。
		箏 【器楽】	旋律の美しさを味わう。 「浜辺の歌」「早春賦」	【技】日本語の響を生かしながら歌っているか。
	6		箏の奏法を知り「さくら」など簡単な曲を演奏する	【技】奏法を理解して正しい姿勢で演奏できるか。
	7	合唱コンクール クラス自由曲の選曲	クラスの雰囲気を考えて選曲する。	【知・思】 曲の内容や強弱などを 考え鑑賞、選択できたか。
		混声合唱 【歌唱】	歌詞の内容や曲想、全体の響きなど感じとって曲にふさわしい表現を工夫して歌う。「クラス合唱の曲」	【知・思】表現記号に留意し、歌い方を工夫しているか。
	バ ロ ッ ク 音 楽 【鑑賞】	音楽を形づくる要素を考えながら楽曲の素晴らしさを感じ取る。 「小フーガト短調」	【知・思】形式を理解し、器楽曲の表現を味わって鑑賞できたか。	



2 学 期	9 10	行事への取り組み② 【歌唱】	歌詞の内容や曲想、全体の響きなど感じとって楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う。(合唱コンクール)	【態】(共通)意欲的に取り組んでいるか。 【知・技】表現記号に留意し、い方を工夫しているか。
	11	オーケストラの様々な年代の音楽【鑑賞】	音楽の多様性を感じ取ってそのよさや美しさを味わう。さらにオーケストラについて学ぶ。(音楽鑑賞教室に向けて)	【知・思】楽曲や作曲者について理解し味わって鑑賞できたか。また、オーケストラについての知識を得ること興味をもつことができたか
	12	アルトリコーダーのアンサンブル【器楽】	基礎的な奏法を理解し、表現を工夫しながら演奏する。「ふるさと」「ハレルヤコーラス」	【技】旋律の重なり具合に留意して美しいハーモニーで演奏できるか
		古典派の音楽【鑑賞】	楽曲の背景や作曲者の心情を理解して鑑賞する。「ベートーベン交響曲第5番」	【思・技】楽曲の特徴を理解して表現を工夫する
3 学 期	1	リズムパターンを使って曲を作る【創作】	リズムパターンの組み合わせを工夫し楽曲を作る。	【態】(共通)意欲的に取り組んでいるか。 【知・態】リズムの仕組みを理解し、組み合わせを工夫して簡単な曲を作成できたか。
	2	オーケストラの様々な年代の音楽【鑑賞】	音楽の多様性を感じ取ってよさや美しさを味わう。さらにオーケストラについて学ぶ。(音楽鑑賞教室に向けて)「ブルタバ」	【知・思】楽曲や作曲者について理解し味わって鑑賞できたか。また、オーケストラについての知識を得ること興味をもつことができたか
	3	日本の伝統的な音楽	わが国で表現されていた音楽の特徴を感じ取る。雅楽「越天楽」「舞楽」	【知・思】日本の伝統芸能に興味関心をもって特徴を味わうことができたか。
		混声合唱 【歌唱】	曲想を感じ取り、声部の役割や全体の響きを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏する。	【知・技】表現記号に留意し、歌い方を工夫しているか。

# 令和6年度 美術科 評価から評定への総括方法

## 美術科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

感じ取ったことや考えたことなどを基に表現する活動と伝える、使うなどの目的や機能を考えた表現する機能を経験させる。

## 評価の観点およびその趣旨

	全学年
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。制作における材料や用具の生かし方や見通しを持って表そうとしている。
思考・ 判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組もうとする。制作の為に事前に制作資料などの準備をしている。

## 評価から評定への総括方法 (全学年共通)

評価項目 観点	授業態度 (振り返りカード、 聴く態度、質疑等)	アイデアスケッチ (制作過程の 工夫・試行)	ワークシート レポート	作品	定期 テスト
知識・技能		○	○	○	○
思考・ 判断・表現	○	○	○	○	○
主体的に学習に 取り組む態度	○	○	○	○	

令和6年度 美術 2年 年間指導計画および評価基準

- 【知】 知識・技能
- 【思】 思考・判断・表現
- 【態】 主体的な学習態度

	月	単元	学習活動	評価規準
1 学 期	4	・木彫練習	・彫刻刀の正しい使い方の学習 ・木片による基礎的な彫り方の学習	【知】 木の肌ざわりを生かし創意工夫して表現している 【思】 制作の手順から見通しをもち、主体的に表現の構想を練っている 【態】 木材の特徴を掴み、多様な表現の可能性を追求しようとしている
	5	・木彫鏡	・鏡の下絵を制作する ・木彫制作	【知】 木彫の基本的な彫り方を理解して作業ができている 【思】 構成美の要素を取り入れ工夫することができている 【態】 意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている
	6			
	7			
	8			
2 学 期	9	・さまざまな遠近法 ・部屋デザイン	・遠近法の学習 ・身近で立体感や奥行きを感じられる場面と理由を考え、様々な遠近法を知る ・住む人をイメージしながら部屋をデザインし、投影法で表現する	【知】 投影法の描き方を理解し、制作手順を考え、見通しをもって作品を完成させることができている 【思】 描き方を理解し、住む人を具体的にイメージしながら作品に取り組もうとしている。 【態】 実際の見え方を想像しながら表現方法についてイメージし主体的に部屋の構想を練ろうとしている
	10			
	11			
	12	・パッケージデザイン	・市販のパッケージを鑑賞し、企業側の工夫を考える ・ターゲットを決め、それに合わせて文字や配色を決める	【知】 表現したいことのイメージを持ちながら、制作の順序などを考え創意工夫して表現している 【思】 購入する時を考え、パッケージの美しさや楽しさを感じられる構想を練っている アイデアスケッチで文字のデザインや配色など、中身の食べ物にあったアイデアスケッチを制作している 【態】 地域のお土産や特産品などのデザインを分析し、特徴や工夫点を見つけようとしている
3 学 期	1			
	2	・自分の印	・和の模様、紋の魅力 ・自身の名前を紋にしてデザインスケッチ ・紋のハンコを彫る	【知】 形やデザインの面白さを感じ取り、作者の心情や意図と結び付け、自身の価値意識をもって味わっている 【技】 制作手順や作品のイメージをもって創造的に表現している 【態】 紋の特徴や美しさに関心を持ち、主体的に主題を生み出し構想を練ろうとしている
	3			

# 令和6年度 保健体育科 2学年 評価方法

教科担当：西・長谷川

## 1. 評価に関わる教科指導の基本方針 (評価計画)

- ・学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、言語活動を積極的に取り入れる。
- ・各分野、種目の基礎的な知識を身につけさせる。
- ・授業態度や授業プリントなどの提出物を重視し、評価していく。また小テストなどを通じて、基礎的な知識を定着させる。
- ・年間を通して体育分野と保健分野を学習していく。
- ・ICTを多用し、視聴覚教材をできるだけ活用していく。
- ・主体的な発表授業を通じて、調べる力、発表する力をつける。

## 2. 評価の観点と評価方法

- ① 知識及び技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

## 3. 評価から評定への総括方法の一覧表 (各観点を総括して数値化し評価します)

評価方法	授業での 取り組み	見学・欠席等、態度、言語活動、ワークシート、安全に留意する姿勢
	実技への 取り組み	運動技能の向上、課題の達成、協働活動
	テストなど への取組み	ルールの理解、運動特性の理解、教科書や実技所の理解、生活・健康・安全への理解
評価の ポイント	(ア) 知識及び 技能	①ルールや技能のポイントを理解している ②各種目の技能を習得している。 ③生活、健康、安全について理解している
	(イ) 思考・ 判断・表現	①課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組みを工夫している。 ②自分の考えを他者に伝えることができる。 ③仲間と教え合い、チームやペアとのかかわり方を見つけている。 ④安全上の留意点を他の学習場面に当てはめている。
	(ウ) 主体的に学 習に取り組 む態度	①欠席、見学、忘れ物がない。 ②正しい服装をしている。 ③運動や健康に対する興味関心が高く、積極的に取り組んでいる。 ④公正な態度で授業に取り組んでいる。 ⑤自身の学習を深めようとしている。

## 4. 令和6年度 第2学年 保健体育科 評価規準

### 体づくり運動

#### ○知識

- ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。

#### ○思考・判断・表現

- ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする事、話し合いに参加しようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

### 器械運動

#### ○知識・技能

- ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。
- ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。
- ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。

#### ○思考・判断

- ・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする事、仲間の学習を援助しようとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

### 陸上競技

#### ○知識・技能

- ・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。
- ・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡してタイミングを合わせることができる。
- ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。

#### ○思考・判断・表現

- ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする事、分担した役割を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

## 水泳

### ○知識・技能

- ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。
- ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。
- ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。
- ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。
- ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。

### ○思考・判断・表現

- ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。

## 球技

### ○知識・技能

- ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。
- ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。
- ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。
- ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。

### ○思考・判断・表現

- ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。

### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

## 体育理論

### ○知識

- ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解している。

### ○思考・判断・表現

- ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。

### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。

## 保健

### ○知識・技能

- ・傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

### ○思考・判断・表現

- ・傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・傷害の防止、健康な生活と疾病の予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。

評価計画

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点

観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価から評定への総括方法

(学期ごとに○がついている方法から選択し評価します。)

	授業での取り組み					定期考査等	
	聞く姿勢	ノート・ワーク プリント	用具等の取り扱い	作品製作の過程	作品	定期考査	課題・宿題等 レポート
知識・技能			○	○	○	○	○
思考・判断・表現		○	○	○	○	○	○
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○		



2 学年 年間指導計画および評価規準 (計 35 時間)

学期	月	単元名	時数	指導内容	評価規準		
1	4	C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費	3	家庭生活と消費のかかわりを考えよう	<p>即時払い、前払い、後払いの特徴と利点と問題点を整理できる。 身近な商品を例にとりあげ、商品購入に必要な情報の種類と情報の入手方法と利用時の注意点についてまとめることができる。 売買契約の意味を理解し、トラブルの事例から正しい対処法を考えている。 事例から消費者の権利と責任について理解している。 物資・サービスの適切な選択、購入および活用について必要な情報を理解し、収集・整理することができる。 &lt;知・技・思・判・表・主&gt;</p> <p>衣生活や住生活を豊かにするための製作品を自分なりに工夫し安全に用具を取扱い、目的に応じた縫い方で製作することができる。&lt;知・技・思・判・表・主&gt;</p>		
	5	2 購入・支払いと生活情報	4	購入・支払いと消費者を支えるものについて知ろう			
	6	3 消費者被害と消費者の自立	2	生活に役立つものを作る			
	7	生活を豊かにするために	3	基本縫い、ほころび直しの方法			
	2	9					
		10	食生活と栄養	3		中学生に必要な栄養素 給食献立を考えよう	<p>1 日に必要な食品の種類と概量について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。不足している食品群を補うような 1 日分の献立を考え、工夫できる &lt;主・知・技・思・判・表&gt;</p> <p>栄養素の特徴を踏まえ、バランスの良い給食献立を作成する。摂取量の目安に近づくよう工夫している。&lt;知・技・主&gt;</p> <p>生鮮食品、加工食品の特徴について理解している。&lt;知・主&gt;</p> <p>生地域や季節の行事食の調理、文化に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。&lt;主・知&gt;</p> <p>より生活を豊かにするために、製作の技能を身につけている。&lt;工夫/技能&gt;</p> <p>衣服の補修の目的と布地に適した方法について理解し、実践することができる。&lt;知・技&gt;</p> <p>食品の安全性に関する問題などに興味をもち、自分の食生活での課題解決を考え工夫している。&lt;主・思・判・表&gt;</p> <p>食品の保存方法や食中毒の防止について理解している &lt;知&gt;</p> <p>日常食の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている。 &lt;主・知・技&gt;</p> <p>食品や調理用具の安全と衛生に留意して調理操作ができる。&lt;知・技・思・判・表&gt;</p> <p>調理に必要な手順や時間を考えて作業や工夫ができる。&lt;思・判・表・主&gt;</p> <p>自分の成長を振り返り、家族を始め多くの人に支えられ、影響を受けたことに気付いている&lt;主&gt;</p> <p>幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解している。&lt;知・技&gt;</p> <p>基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の獲得の意義を説明できる。&lt;知・技・思・判・表&gt;</p>
		11	食品選択	3		生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう 食品の選択と購入について考えよう	
12		行事と食文化	8	日本の食文化 食料の大切さを知る			
3	1	日常食の調理	4	食品の保存と食中毒の防止について考えよう			
	2	献立作り	4	調理の計画			
				基本的な調理技能を身に付ける			
				肉の調理 魚の調理			
	3	家族・家庭生活	2	今までの自分とこれまで 幼児の心身の発達と生活を考えよう			

